



# 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 石岡市立関川小学校 】

1 実践テーマ	Ⅲ・Ⅴ
2 実施対象者 (学年・人数)	全校児童34名 (1年6名, 2年5名, 3年7名, 4年3名, 5年6名, 6年7名) 全教職員・保護者(希望者)・地域の方々(希望者)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① <u>教科名</u> (総合的な学習の時間・学級活動) ② <u>行事名</u> (盲導犬講演会・オリパラ講演会) ③ <u>その他</u> (全校集会・居住地交流) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	・実際にパラリンピアンのお話を聞いたり、一緒に体験したりすることを通して、スポーツを通じたインクルーシブ教育(共生社会)の構築を目指す。 ・パラスポーツを体験することで、その特性や困難さ、おもしろさを実感させ、それらに対する親しみや応援する心を涵養する。
5 取組内容	(1) 事前学習 ゴールボールを知ろう(6年生から全校児童へ) ① 6年生がパラリンピックやゴールボールについて調べる。 ② 調べたことを全校児童に伝える。   (2) 盲導犬講演会(4~6年対象)(1~3年触れ合いのみ) ① 実施日 令和元年11月6日(水) 13時45分~15時20分 ② 講師 盲導犬協会 指導員2名 盲導犬2匹 ③ 内容 ア 盲導犬についての講演 イ 盲導犬との触れ合い ウ 盲導犬との歩行体験



### (3) オリパラ講演会（全校児童対象）

① 実施日 令和元年12月18日(水) 13時45分～15時20分

② 講師 関彰商事 山口凌河選手（ゴールボール日本代表候補）  
同行者1名

#### ③ 内容

ア 山口選手による自身の体験を含めた講演・ゴールボールの紹介

イ アイマスク体験

ウ ゴールボール体験



### (4) 居住地交流（1～3年）

① 実施日 令和2年1月

② 内容 ボッチャ体験「I'm POSSIBLE」活用



(5) パラスポーツを体験しよう(4, 5年 総合 福祉)

① 実施日 令和2年2月14日(金)5校時(授業参観)

② 内容

ア ボッチャについて調べる(前時まで)

イ ボッチャについて説明する(保護者へ)

ウ ボッチャを体験する(保護者と)

6 主な成果

- 山口選手の明るい人柄により、楽しい時間を過ごすことができた。障害者に対して暗いイメージをもっていた児童も、障害があっても明るく、前向きに頑張っている姿を見て、自分も頑張ろうとする気持ちをもつことができた。また、アイマスク体験の中で、人との関わり方と自分のことや気持ちを伝える大切さを教えてもらい、コミュニケーションが大事なことも感じる事ができた。
- 視覚障害者や盲導犬について、見かけたときの声のかけ方や接し方など具体的なことを教えていただいたので、「見かけたとき、困っていたら声をかけたい」、「盲導犬の訓練士になりたい」などの感想をもつ児童もいた。
- ゴールボールとボッチャを体験することを通して、パラスポーツに関心をもち、テレビやインターネットなどで情報を得ようとする児童が出てきた。
- 普段触れることができない方々と接する機会を得られたことにより、積極的に質問する児童が多く見られるなど、いろいろなことに興味をもつ児童が増えた。

7 実践において工夫した点(事業の特色)

- オリパラ講演会として、ゴールボールの山口凌河選手が来てくださることが決まってから、それまでに児童の関心が高まるよう工夫した。  
まず、6年生にゴールボールについて調べさせ、全校児童に伝える活動を通して、ゴールボールという競技への関心を高めた。  
次に、盲導犬講演会を実施し、盲導犬や視覚障害者について知る機会を通して、ゴールボールを行う視覚障害者への関心を高めた。  
また、パラリンピックでしかない種目であるボッチャも体験する機会を作り、パラスポーツへの関心も高める工夫をした。

8 主な課題等

- 来年度が東京オリンピック・パラリンピックの本番のため、講師の選定、連絡、日程調節等、難しかった。

9 来年度以降の実施予定

- 来年度は2020東京オリンピック・パラリンピックが開催されるので、山口選手との交流を続け、応援していきたい。